

～平成22年度予算成立～

3月定例会を、3月10日から19日までの10日間の会期で開きました。

条例の制定や補正予算、平成22年度当初予算、追加議案について審議し、提案されたすべての議案を原案のとおり可決・同意しました。



近津幼稚園入園式

(1万円未満切り捨て)

会計名		22年度予算額	21年度予算額	比較	
一	般 会 計	50億1,300万円	48億3,400万円	1億7,900万円	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	14億8,858万円	15億8,156万円	△9,298万円	
	後 期 高 齢 者 医 療	1億1,676万円	1億2,274万円	△598万円	
	老 人 保 健	61万円	424万円	△363万円	
	介 護 保 険	9億1,716万円	8億4,239万円	7,477万円	
	簡 易 水 道 事 業	4,024万円	4,021万円	3万円	
	公 共 下 水 道 事 業	3億3,821万円	3億4,491万円	△670万円	
	農 業 集 落 排 水 事 業	6,455万円	7,050万円	△595万円	
	宅 地 用 地 取 得 造 成 事 業	3万円	3万円	一 円	
上 水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 支	収 入	4億186万円	4億881万円	△695万円
		支 出	3億8,178万円	3億9,809万円	△1,631万円
	資 本 的 収 支	収 入	9,958万円	2億3,407万円	△1億3,449万円
		支 出	2億6,894万円	3億9,320万円	△1億2,426万円

総額で86億円の予算を可決

引き続き厳しい財政状況の中、国庫補助金の確保や歳出削減に努め、第五次振興計画に掲げた諸施策を積極的に実施する編成となっています。

二十一年度予算

輝きつづける 人づくりのため

『子ども手当』創設

「子ども手当」の創設により「児童手当」が廃止され、中学3年生までを対象に、1人あたり月額1万3千円が支給されます。



22年度の注目

平成22年度に行われる事業の中から、主な事業を取り上げてみました。

子育て支援の充実

子育て支援策として、子どもたちに健全な遊びの場をあたえ、健康の増進と豊かな情操を育てることを目的とした、棚倉町子どもセンターが開所しました。放課後健全育成事業の児童クラブも引き続き実施され、棚倉児童クラブについては、子どもセンターに場所を変更し、安心して就労できる子育て環境の充実に努めます。

住宅用太陽光発電システム設置補助事業

住宅用太陽光発電システムを設置する方に、一キロワットあたり三万円、最大四キロワットで十二万円を限度として、町独自の補助金を交付します。

戸別所得補償制度

国の政策により、本年度は初年度であるため、モデル対策として二つの事業が実施されます。

一つは、転作等を条件に、米の生産数量目標達成農家に対し、作付面積から一律十アールを控除した面積に対して、十アール当たり二万五千円の定額分と、米価が下がった場合の変動分が交付される「米戸別所得補償モデル事業」。

もう一つは、米の生産数量目標の達成に関わらず、水田で麦・大豆・米粉用米・飼料用米・加工用米等の生産農家が実際に使用される方との出荷・販売契約等をした場合、作物ごとに定められた金額が交付される、「水田利活用自給力向上事業」です。

棚倉町ポイ捨て及び犬のふんの放置防止条例の制定

ポイ捨てによる空き缶等の散乱及び犬のふんの放置防止のための施策です。

この条例施行により、町民等による環境ボランティア活動の推進や意識の向上を図ります。

結果、棚倉町における環境美化を積極的に推進し、町民の快適な生活環境を確保するための条例です。



文化財の保護

町指定文化財である、棚倉藩ゆかりの茶室を城跡周辺に移築し、保存・活用できるように整備します。

21年度補正予算

(原案可決)

国の補正予算を活用し、22年度へ繰り越して実施する主な事業です。

(1万円未満切り捨て)

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		3億7,659万円	55億3,537万円
特別会計	国民健康保険	△3,469万円	15億5,000万円
	後期高齢者医療	43万円	1億1,801万円
	老人保健	△352万円	370万円
	介護保険	△1,757万円	8億7,542万円
	簡易水道事業	△70万円	4,061万円
	公共下水道事業	△728万円	3億3,798万円
	農業集落排水事業	△103万円	6,925万円
上水道事業	収益的収支	収入	△1,349万円 3億9,017万円
		支出	△299万円 3億8,716万円
	資本的収支	収入	4,516万円 2億8,653万円
		支出	5,262万円 4億5,672万円

◎ 棚倉中学校舎耐震補強改修事業

◇ 2億8,800万円

北校舎及び西校舎を補強し、耐震化を図ります。



改修工事が予定されている北校舎

◎ 林道舗装事業

◇ 2,911万円

上手沢小鯨線の小鯨側680mの林道舗装を行ないます。

◎ 町道舗装修繕事業

◇ 2,700万円

町道富岡三森線の舗装工事を行い、路面を修繕します。

◎ ルネサンス棚倉外壁等補修事業

◇ 2,340万円

クラブハウス、ホテルの外壁塗装及び、交流研修館の屋上防水修繕等を行ないます。



外壁塗装工事が予定されているクラブハウス、ホテル

◎ ブロードバンド整備事業

◇ 5,234万円

町内の一部地域において、他地域との情報格差を解消するため、東白川郡4町村と、矢吹町、泉崎村の6町村の共同施工により、光ファイバーによるブロードバンド化を図ります。

◎ 上水道石綿管更新事業出資金

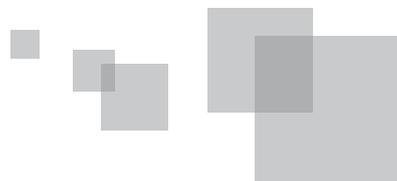
◇ 5,000万円

福井地区他の石綿セメント管布設替え工事に対する上水道事業会計への出資金です。

◎ 棚倉町文化センター改修事業

◇ 1,050万円

棚倉町文化センター屋上の防水工事を行ないます。



議案審査

(3月16日～17日)



予算特別委員会での審査

三常任委員会に付託された二十二年度条例の制定、改正等の議案を審査しました。
また、予算特別委員会が設置され、新年度予算について審査されました。
各常任委員会及び予算特別委員会に、提出された議案をすべて原案のとおり可決すべきものと決定、最終日の本会議において、審査結果を各委員長が報告し、可決されました。

討論の末に **可決**

平成22年度棚倉町一般会計予算の原案めぐり
討論が行なわれ、採決の結果、賛成多数で可決しました。

反対
(1人)

鈴木政夫 議員

私たちには、長く続きすぎた自民党政治の疲弊した社会をまともな国・町を作り、人々の暮らしを守る政治を確立する責任があるが、本予算案にはそうした観点が極めて希薄である。

五十億の予算には、子ども医療費の無料化など積極的な面もあるが、水資源対策に二億四千万近く、公共下水道事業特別会計への繰出金一億六千五百万円など、旧態依然とした予算が編成されている。

町長は、棚倉町は郡内町村よりも財源が豊かだと主張するが、問題はどれだけ住民福祉の向上がなされているか、このことが最大の試金石である。

新政権が新しい農業政策を打出す中で、町独自の施策は以前と変わらず、個々の農家を支援する立場が欠落していると指摘せざるを得ない。

以上、棚倉町が抱えている問題の一部を指摘し反対討論とする。

賛成
(14人)

金澤義行 議員

歳入においては、景気低迷により町税等の落ち込みが減額の見込となつているが、地方交付税や国や県の補助金を活用しながら、町財政健全化に努力し財源の確保に努めている。

歳出においては、棚倉町子どもセンターを開所するほか、中学三年生までの医療費無料化等、引き続き子育て支援を一層充実させようとしている。

また、継続的に実施する学校耐震改修工事についても、他町村に先んじており、森林環境交付金事業等の農林事業にも積極的に取組もうとしている。

更に社会基盤の整備では、公共下水道事業のエリア拡大を図り、町道整備事業等の予算が措置され、社会資本整備を進めようとしている。

こうした予算案は町政の継続的な発展を目指す適切なものと考え、賛成討論とする。

みなさんからの請願

下記の請願を各常任委員会が審査した結果、意見書として採択すべきものとされました。

その後、議会において議決、平成22年3月19日付で内閣総理大臣をはじめとした関係機関に意見書を提出しました。



藤田 昇さん(丸内)

◎人権擁護委員候補者の推薦
全会一致で、推薦することに同意しました。

人事案件

件名	請願者	紹介議員	付託委員会	審査結果
1 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願	日本労働組合総連合会 福島県連合会東白川地区連合 議長 小野 正	渡辺義夫	建設経済 常任委員会	採択
2 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書提出の請願	日本労働組合総連合会 福島県連合会東白川地区連合 議長 小野 正	渡辺義夫	厚生文教 常任委員会	採択
3 「所得税法第56条の廃止」を求める意見書提出についての請願	東石民主商工会 会長 江田 孝 婦人部長 鈴木 操	鈴木政夫	総務 常任委員会	採択

3月定例会に提出された主な議案と結果

条例など	審議結果
棚倉町ボイ捨て及び犬のふんの放置防止に関する条例	原案可決
リゾートスポーツプラザ「ルネサンス棚倉」条例一部改正	原案可決
職員の勤務時間、休暇等に関する条例等一部改正	原案可決
奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例一部改正	原案可決
学校給食センター設置条例一部改正	原案可決
社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例一部改正	原案可決
重度心身障害者医療費の給付に関する条例一部改正	原案可決
町営住宅条例一部改正	原案可決
白河地方土地開発公社の定款一部変更	原案可決

平成22年度予算	採決結果
一般会計予算	原案可決
国民健康保険特別会計予算	原案可決
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
老人保健特別会計予算	原案可決
介護保険特別会計予算	原案可決
簡易水道事業特別会計予算	原案可決
公共下水道事業特別会計予算	原案可決
農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
宅地用地取得造成事業特別会計予算	原案可決
霊園整備事業特別会計予算	原案可決
上水道事業会計予算	原案可決

平成21年度補正予算	採決結果
一般会計補正予算	原案可決
国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
老人保健特別会計補正予算	原案可決
介護保険特別会計補正予算	原案可決
簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決
農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
上水道事業会計補正予算	原案可決

人事案件	採決結果
人権擁護委員候補者の推薦	原案同意

請願の意見書提出	採決結果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出	採択・原案可決
社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出	採択・原案可決
「所得税法第56条の廃止」を求める意見書の提出	採択・原案可決